



それゆけ三中

教育目標：より確かに・より豊かに・より遅しく

令和2年12月8日
足利市立第三中学校

生徒数：198名
発行者：高木秀和



一枚残ったカレンダーが換気のために開けられたサッシの隙間から吹き込む冷気に時折踊っています。ファンヒーターの温風と外気の冷風が室内に小さな風を生みます。例年ならば、休み時間の換気でまかなっていましたが、この冬は、常時換気に努めています。教室で勉強していても感じる肌寒さ。感染拡大防止に必要な換気。両者を成立させるために、生徒と先生が考えてくれました。冬服の防寒着に関する規定の見直しです。①室内でのウインドブレーカー着用、②ハイネックのアンダーウェア着用、③室内でのひざ掛け使用、この3つの防寒対策により、Withコロナの冬を、健康面を保持しながら学業に打ち込もうと決めました。『今までは』から『今は』そして、『これからは』を一つ一つ丁寧に考え、前に進む生徒と先生の姿は、チーム三中の起動力となっています。2学期の締めくくりの時期となりました。お子様は、『考えること』を止めずに日々前進しています。年末を迎え、保護者皆様のご支援に改めて感謝申し上げます。ありがとうございます。

総合文化発表会・発表の部 11/9(月)

午前の部 オープニング



開会式 生徒会本部役員さんと大塚先生が制作したオープニングのライドショー、春からの思い出が音楽に乗って投影されました。司会進行も生徒が担当し、副会長の君のあいさつでセレモニーの幕が降り



ました。画像、音楽、心のこもった言葉が会場を一つにしました。

青少年作文

1年2組 君さん

「命の尊さ」
祖父の弟さんの看護体験、人を助けたいという思い…



2年1組 君さん

「私たちと母ちゃん」
祖母への想い、支え合う家族の絆、繋がる心…

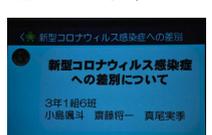


社会科学習発表

差別について調べた根拠をベースに、自らの考察を加えた論理展開、見事なプレゼンでした。

3年2組「男女差別について」

君、君、君、君、君、さん



3年1組「COVID-19による差別について」

君、君、君、さん、

吹奏楽部

顧問の先生も一緒に4曲を披露。7名の奏でる音が心地よくホールに響き、素敵なひと時を提供してくれました。七つの惑星、そうして目に見えないもの、パプリカ、他2曲



午後の部 (合唱コンクール)

クラスで選んだ1曲に込めた全員の想いを、歌詞にのせてホールに、観客、そして自分自身の心いっぱい響かせてくれました。金賞は、目標であり、朝、昼、放課後と生徒、担任ともにスクラムを組んで練習に励んでいました。職員「マリーゴールド」た。歩んできた日々、本番の発表が終わり、一人一人の心に、金賞を超えた、もっと別の想いが宿ってくれたなら、合唱の目的を達成できたと言えるでしょう。～暗い長い道の先にかがり火、目指してただひたすら前進し、辿り着く。最初に着いた者に炎は与えられる。そして、そこに着いた者全員に、かがり火の向こうに広がる形のない特別な光が与えられる。光の名は、『絆』。～素晴らしい歌声をありがとうございました。



1年1組「マイバラード」 1年2組「瞳そらさずに」



2年1組「自分らしく」 2年2組「HEIWAの鐘」



3年1組「空駆ける天馬」 3年2組「証」 3年3組「あなたへ～旅立ちに寄せるメッセージ～」

生徒会長の話 君



総合文化発表会・展示の部



校内各所に生徒、教職員、保護者の作品が展示されました。総合学習の体験記や高校調べ、国語の書道、社会の調べ学習、理科の自由研究、技術、美術、特別支援学級の授業で制作した作品、美術部の個人及び共同制作の力作等が学びと芸術の空間を演出しました。



人権週間 12月4日～10日

「自分や人との関り方を見つめ直そう!」ということで、人権教育主任の先生を中心に、昼の放送を活用して各クラスの標語発表や人権集会が企画されています。各クラスで考えた標語:1年1組「自分の命 他人の命 自由に生きる権利たった一つの言動で 人権の未来は変えられる」2組「思いやり もって損なし 気分よし」2年1組「好きな物・好きな事 みんなちがって みんないい」2組「守ろう人権 守ろう笑顔 輝く明るい未来のために」3年1組「踏み込むな 傷つけるな 自分の個性」2組「みつめよう 自分の行動 守ろう 大切な人権」3組「いじめを 増やすな 笑顔を 絶やすな」言葉一つ一つにクラスの真剣な想いを感じます。



1年生 働く人に学ぶ会

講師: 先生(栃木県若年者支援機構) キャリア教育インストラクター、先生のワークショップはテンポがよく仕事の分野についての説明、その後は自分の適性をみるアンケート回答と、今後のキャリア教育に繋がる学習ができました。



2年生 夢の教室

オンライン 講師: 先生(陸上選手) 先生とオンラインで繋がるという、足利市としても本校が初の試みでした。挫折した経験談、そこからの脱却等2年生にとって共感でき、また、道しるべとなる講話でした。「考えるだけでなく、夢に向かってできることを実行していきたい。」ある生徒さんの感想です。



かなふり松プロジェクト

先生(国語)、先生(家庭科)の授業で授業研究を行いました。先生たちの分かりやすい授業と皆さんの学びに対する積極的な態度で、授業の雰囲気も良く大変感心させられました。



生徒会本部役員

全校レク等の企画でチーム三中をリードしてくれた3年生が引退し、新たなメンバーで本部役員が揃いました。3年生の皆さん、本当にありがとうございました。新本部役員: 生徒会長2年 副会長2年 副会長1年 議長2年 副議長1年 会計2年 1年 書記2年 1年 (9名) 令和3年度に向け活動開始、よろしくお祈りします。



避難訓練

震度5の地震発生による出火を想定した避難訓練を実施しました。避難開始の放送から2分46秒で、全生徒が校庭東に避難完了、全員が言葉一つなく真剣に訓練に参加してくれました。生徒の危機管理意識の高さを再確認できました。



昼の放送(クイズ・ダジャレ)

放送委員会企画で始まった、生徒や教職員から募集したクイズ、ダジャレの放送が大変好評です。募集箱は毎日満杯で、放送まで一か月待ちの人気ぶり。DJ役の人柄も曜日毎にユニークで楽しみの一つです。昼のエンタメ、和やかさをありがとうございます。



言葉の窓
よく見ないけど、
何て読むの?

定石
「決まった方法、手順」という意味。新たなものを生み出すためにも、まずは基礎・基本、定石を大切にしたいものです。
読み方: じょうせき

優良青少年表彰

3年3組、君が優良青少年として、3年2組3君が徳行者として、足利市長の和泉聡様より表彰状を授与されました2人の中学校3年間の謙虚で優れた行いが認められての受賞に生徒、教職員一同大変嬉しく心よりお祝いの言葉を贈ります。おめでとうございます。



ある絵本より

～ほしかったのは、名前じゃないんだ。～ 『なまえのないねこ』より引用

ぼくは猫。誰にも名前をつけてもらったことがない。小さい時はただの「子猫」だった。大きくなってからはただの「猫」だ。町の猫はみんな名前を持っている。靴屋の猫は、レオ。本屋の猫は、げんた。八百屋の猫は、チビ。～名前が欲しくてたまらない、主人公のねこは、「自分で好きな名前をつければ」と言われ、名前探しに出ました。でも、なかなか名前は見つからず、ベンチの下、空を見上げて雨が止むのを待つ猫。その心の中まで、雨音が響き渡ってきます。すると猫に話しかかる優しい声。その声を聴いて、猫は本当に求めていることに気づきます。～「ねえ。お腹すいているの?」あ。優しい声。いい匂い。「ぞみ、綺麗なメロン色の目をしているね。」そうだ。わかった。ほしかったのは、名前じゃないんだ。名前をよんでくれる人なんだ。「おいで。メロン。」

朱円、車は銀のマスク、山は遠く青く、ビルを超えるカラス一羽、続く凍てつくアスファルト